

報告事項1「基本理念の実現に向けた 具体的な取組の考え方」

②プラスチックごみの削減・資源化

令和5(2023)年9月

伊丹市 市民自治部 まちづくり室
減量推進課

1. プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラ新法) ～国・事業者・市町村の役割～

国

- ①必要な資金の確保等の措置を講ずること
- ②情報の収集、整理及び活用並びに研究開発の推進及びその成果の普及等の措置を講ずること
- ③教育活動、広報活動等を通じた国民の理解醸成及び協力の要請等の措置を講ずること

事業者

- ①プラスチック使用製品設計指針に即してプラスチック使用製品を設計すること
- ②プラスチック使用製品の使用の合理化のために業種や業態の実態に応じた有効な取組を選択し、当該取組を行うことによりプラスチック使用製品廃棄物の排出を抑制すること
- ③自ら製造・販売したプラスチック使用製品の自主回収・再資源化を率先して実施すること
- ④排出事業者としてプラスチック使用製品産業廃棄物等の排出の抑制及び再資源化等を促進すること

市町村

- ・家庭から排出されるプラスチック使用製品廃棄物の分別収集、再商品化その他の国の施策に準じてプラスチックに係る資源循環の促進等に必要な措置を講ずること

消費者

- ①プラスチック使用製品の使用の合理化によりプラスチック使用製品廃棄物の排出を抑制すること
- ②プラスチック使用製品廃棄物を市区町村及び事業者双方の回収ルートに適した分別をして排出すること
- ③認定プラスチック使用製品を使用すること

都道府県

- ・市区町村がその責務を十分に果たすために必要な技術的援助を与え、国の施策に準じてプラスチックに係る資源循環の促進等に必要な措置を講ずること

2. 国による「必要な資金の確保等の措置」

脱炭素社会構築のための資源循環高度化設備導入促進事業

【事業の概要】

- リサイクルプロセス全体のエネルギー起源二酸化炭素の排出抑制・リサイクルの質の向上につながる資源循環高度化設備
- 化石資源由来プラスチックを代替する 再生可能資源由来素材の製造設備

資源循環高度化設備の導入費用
1/2上限の国補助



事業者



- 脱炭素社会の実現
- 資源の有効利用
- 生活環境の保全

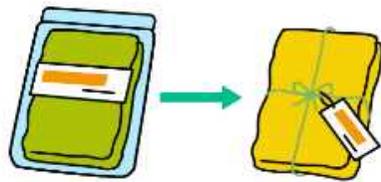
事業者の設備導入促進により、リサイクル技術の高度化

- ・バイオマスプラスチック製品
- ・水平リサイクル(BtoB)等

3. プラスチック使用製品の合理化例

プラスチック使用量の削減や、代替素材への転換が進んでいます

簡易包装の商品



ラベルレスのペットボトル



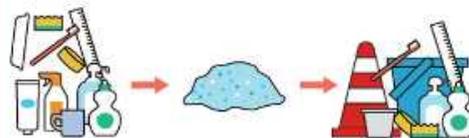
紙の容器包装が使われた
お菓子やお惣菜



プラスチックのストローや蓋を
使わなくても飲むことが
できるアイスコーヒー



再生プラスチックが
使われている製品



回収し再利用される
リターナブル容器を使った飲料



4. プラスチック使用製品の自主回収・再資源化例

『おもちゃリサイクル』

全国のマクドナルドにおもちゃ回収ボックスを設置し、ハッピーセット®のおもちゃを回収するリサイクル活動。回収したおもちゃを、商品を提供する際に使用するトレイに再生する。



出典)日本マクドナルド株式会社



出典)三菱鉛筆株式会社

『ペンの水平リサイクルシステム』

使い終わったプラスチック製品から再び同じ用途のプラスチック製品を作る実証事業。

回収された使用済みペンは、三菱鉛筆の各機関・施設を經由して「再生ペン」としてよみがえり、学校等に提供予定。

『ハブラシ・リサイクルプログラム』

捨ててしまえばごみとなる使用済みハブラシを回収・リサイクルし、植木鉢などの新しいプラスチック製品に生まれ変わらせる。

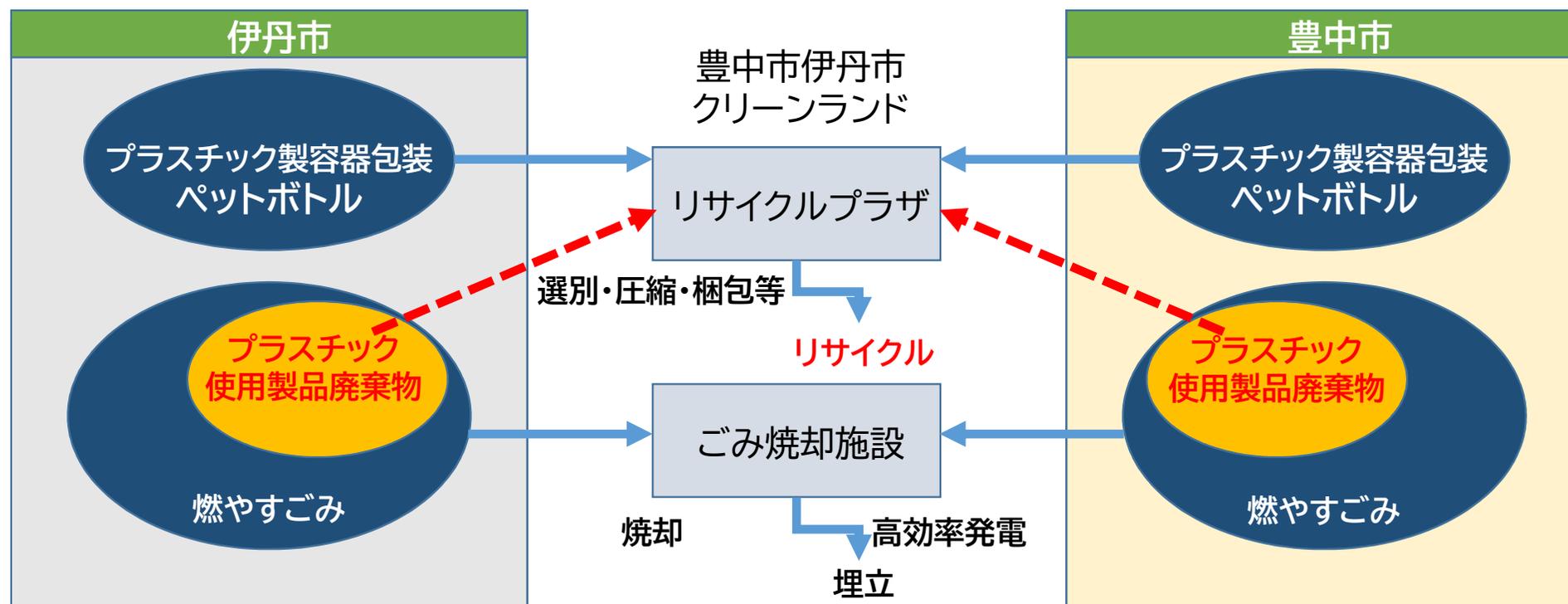


出典)ライオン株式会社

5. 伊丹市におけるプラスチック資源循環の状況

伊丹市では、プラスチック製容器包装・ペットボトルを分別収集し、プラスチック使用製品廃棄物は燃やすごみとして収集しており、豊中市も同様に収集しています。

両市において収集したプラスチック製容器包装・ペットボトルは両市の一部事務組合である豊中市伊丹市クリーンランドのリサイクルプラザ(豊中伊丹スリーR・センター)で、選別・圧縮等の工程を経てバール化しています。一方、プラスチック使用製品廃棄物は燃やすごみとして、豊中市伊丹市クリーンランドごみ焼却施設にて、焼却処理され、最終処分場へと運ばれます。この際、発生するエネルギーを利用し、高効率発電を行っています。



6. 伊丹市におけるプラスチック資源循環に係る課題

今後は、プラ新法のとおりプラスチック使用製品廃棄物の再資源化に係る課題を整理しなければなりません。豊中市伊丹市クリーンランドごみ焼却施設(平成28年3月竣工)・豊中伊丹スリーR・センター(平成24年3月竣工)は現状の処理方法に基づいて設計されているため、現状では、プラスチック使用製品廃棄物の再資源化は困難です。

課題の一例

- ・現有施設余剰能力の確認
- ・現有施設機器変更にて対応の可否
- ・燃やすごみに含まれる再生プラスチック再資源化可能量の把握
- ・選別費用等増加
- ・分別区分の検討
- ・収集方法の検討

上記課題は一例ですが、プラスチック使用製品廃棄物の再資源化に取り組むには伊丹市・豊中市・豊中市伊丹市クリーンランドの3者による課題解決が必要です。